

# メモリカードを用いたデジタルコンテンツ 配布システム

宮崎一哉\*  
中嶋春光\*

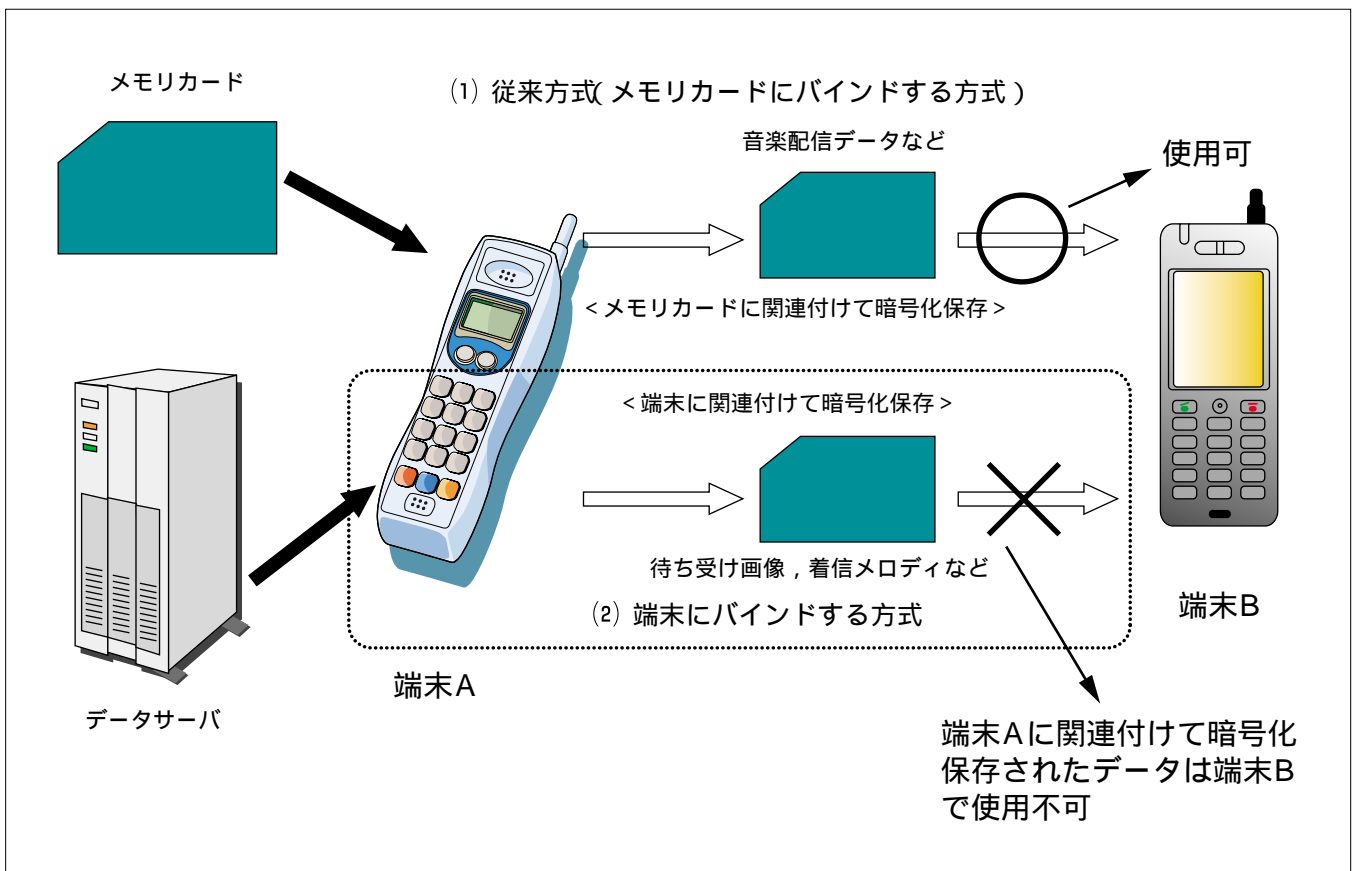
## 要 旨

次世代携帯電話向けデータ配信サービスに代表されるデジタルコンテンツ配信ビジネスでは、大容量のデジタルコンテンツデータの配信が予定されている。これに対応して、モバイル機器には、大容量のデジタルコンテンツデータをバックアップするために、メモリカードなどの小型のリムーバブルメディアを利用することが考えられる。ところが、デジタルコンテンツデータの保存に際しては、不正コピーによる違法な二次利用の防止など配信事業者の権利を守るための技術、すなわち著作権保護技術が必要となる。

従来のメモリカードにおける著作権保護技術は、メモリカード間での不正コピーを防止する技術であり、携帯電話

におけるコンテンツ配信、つまり個別の機器ごとに使用を許可するようなコンテンツには適用できなかった。

そこで、従来の著作権保護技術に加え、上記の要請に適合した方法でメモリカードにデジタルコンテンツデータを安全かつ高速に保存する技術を開発した。従来のデジタルコンテンツデータをメモリカードにバインドする方式と、三菱電機が開発した端末にバインドする暗号化保存方式を使い分けることにより、データの二次利用を想定していないデジタルコンテンツ配信ビジネスに対して、配信事業者の要求に適合した方法で権利を守りながら対応することが可能となる。



## 携帯電話への適用例

従来のメモリカードにバインドする著作権保護方式によってコンテンツを格納した場合、メモリカード間でのコピーは不可能になるが、端末Aに配信されたコンテンツが他の端末Bでも使用できる。一方、端末にバインドする著作権保護方式によってコンテンツを格納した場合、メモリカード間でのコピーは可能だが、端末Aに配信されたコンテンツは他の端末Bでは使用できない。両方式を使い分けることにより、コンテンツホルダの要求に応じた配信が可能になる。